

R3106GF T-FHSS Air (Mono Directional) -2.4GHz 方式

6チャンネル受信機 (テレメトリー非対応)

この度は T-FHSS Air-2.4GHz システム対応受信機 R3106GF をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この R3106GF にはチャンネル 1～6 までのポートが搭載されています。R3106GF は、T-FHSS Air 対応の送信機との組合せで使用できます。R3106GF にはテレメトリー機能は装備されていません。

●この R3106GF は Futaba 製 T-FHSS Air-2.4GHz システムの送信機のみに対応します。

使用上の注意

- ※ T-FHSS Air-2.4GHz システムは S-FHSS, FHSS, FASST, FASSTest (-2.4GHz) システムとの互換性はありません。T-FHSS Air-2.4GHz システムに対応した送信機と組み合わせてご使用ください。
- ※ T-FHSS Air-2.4GHz システムは地上用 T-FHSS システムとの互換性はありません。空用 T-FHSS Air-2.4GHz 送信機と組み合わせてご使用ください。

警告

- ① 受信機を搭載する際は、スポンジで包むなど防振対策をする。また、水分がかからないようにする。
 - 受信機は振動、水分に弱く故障する危険性があります。
- ① コネクターがショートしないように導体からは、離して搭載する。
 - ショートすると破損します。
- ① 使用前の動作テストや使用中に正常に動作しない場合は使用を中止する。
 - 他の 2.4GHz システム等からのノイズにより電波が届かなくなる場合があります。

アンテナ搭載時の注意

警告

- ① アンテナをカットしたり折り曲げたりしない。
 - 受信距離が短くなり操作不能になります。

リンクの方法

- 送信機と受信機を近づけ、送信機を(*)リンクモードにした状態で受信機の電源を入れてください。
- 受信機の電源を投入してから、約 3 秒後にリンク待ち状態となります。
- 送信機のリンクモードが終了し LED が赤色から緑色点灯に変化すれば、リンク完了です。(送信機のリンクモードが終了するまでは緑点灯になりません。)

※送信機をリンクモードにする方法についてはご使用の送信機の取扱説明書をご覧ください。

※リンク操作時に、周囲で他の T-FHSS Air-2.4GHz システムが使用されている場合、それらの送信機のうち 1 台とリンクしてしまう場合があります。このためリンク操作が完了したら、必ず動作を確認してください。

※リンクされた送信機の電源を入れた場合はそのまま通信を開始します。

※ T6L Sport 以外の T-FHSS Air のテレメトリー機能付送信機 (T10J, T6K など) とリンクする場合、送信機には R3106GF の ID は表示されません。(NO LINK) や以前の受信機の ID がそのまま表示されます。それでも R3106GF が緑点灯になればそのまま使用できます。(テレメトリー機能は使用できません。)

警告

- ① リンク操作時は動力用モーターが接続された状態やエンジンがかかった状態では行わない。
 - 不意にモーターが回転したり、エンジンが吹け上がったりと大変危険です。
- ① リンク操作が完了したら、一旦受信機の電源を入れ直し、リンクした送信機で操作ができることを確認する。

注意

- ① リンク完了後は必ず送信機から電源を入れる。
- ① 送信機とのペアを組みかえる場合は、以前にリンクしていた送信機の電波を出さない。

[R3106GF 受信機 仕様]

T-FHSS Air-2.4GHz 方式 (テレメトリー非対応)、6チャンネル

- ・サイズ/重量: 43.1x25.0x8.8mm / 7.8g
- ・定格電圧: 4.8 ~ 7.4V
- ・バッテリー F/S 電圧: 3.8V

※ BEC 電源を使用する場合、容量がご使用のサーボ等の条件に合っていることが必要です。また、乾電池は使用しないでください。誤動作の原因となります。

- ① アンテナを引っ張らない。

■断線し操作不能になる危険性があります。

- ① アンテナはサーボ、モーター、バッテリーおよびそれらの配線から少なくとも 1.5cm 以上離して搭載する。

■受信距離が短くなり操作不能になります。

カーボン胴体機に使用時の注意

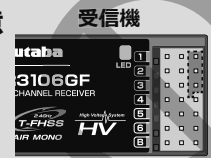
警告

- ① アンテナ部分 (先端 30mm) は完全に機体の外側に出すこと。
 - 外側に出したアンテナ部がフライト中に風圧等で機体内部に戻らないよう注意してください。アンテナがカーボン胴体内にあると受信状況が悪化し操作不能になります。

コネクターさしこみについての注意

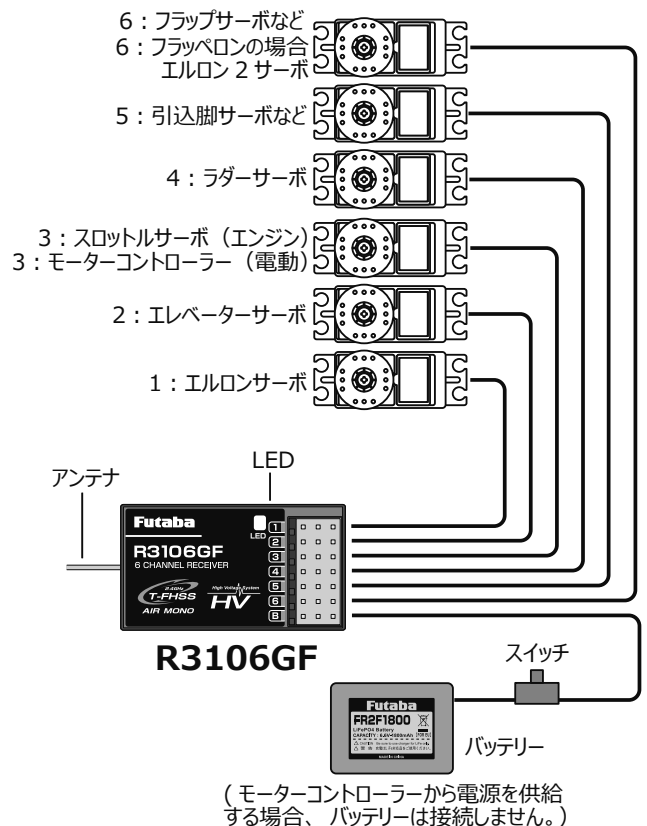
危険

- ① 右図のようにまちがってコネクターを接続しない。
 - ショートして、焼損、爆発、発火の危険性があります。



受信機

① スイッチやバッテリーを決してこの向きに挿入しないでください。



受信機 LED 表示

緑色	赤色	状態
消灯	点灯	無信号時
点灯	消灯	通常動作時
交互点滅		受信機内部の異常 (メモリー等) 電源再投入で回復できない場合は弊社カスタマーサービスへ点検・修理依頼してください。